

# 西都原考古博物館少年団

県立西都原考古博物館少年団は、体験活動を通して古代の人々の生活や知恵を学び、考古学に関する興味・関心、文化財の保存と活用についての意識を高めることを主な目的に、年間を通して活動します。

活動内容は、古代生活体験館でのものづくりや西都古墳まつり（本年度は中止）への参加などです。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、人数や活動を制限したり、延期や中止をしながら実施することになりますが、子どもたちの学びを止めることなく、新しい生活様式に沿った新しい少年団活動を行っています。

活動テーマは、「古代のくらしを楽しく学ぼう」です。県内の小・中学生が団員として8月から毎月1回、計9回の活動をします。以下、活動の様子を新しい順に紹介します。

## 第5回「古代住居で火おこし」 令和2年11月8日(日)

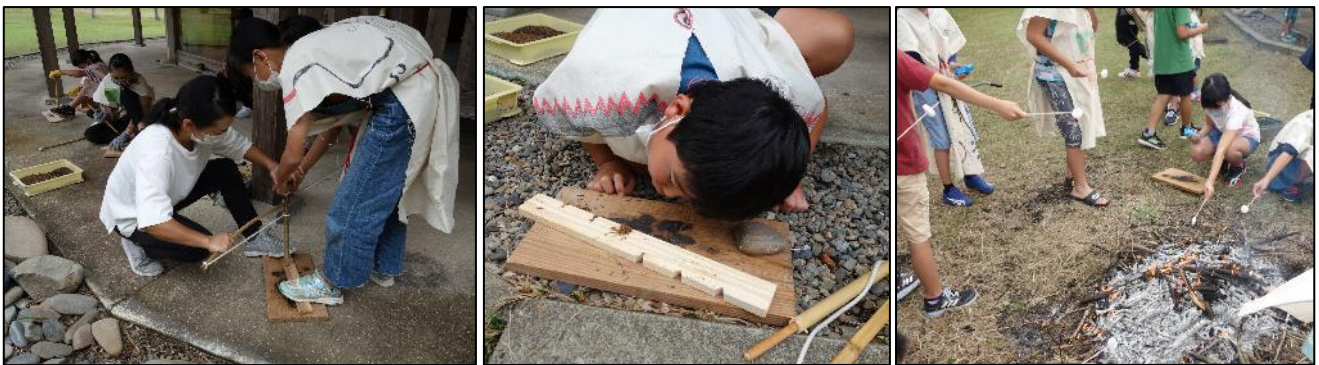
古代生活体験館南側ピロティにて、火おこし体験を行いました。

内容は、弓錐式（ゆみぎりしき）での火おこし体験です。例年3人一組で行っていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、家族単位で行いました。

当日早朝の小雨や日中の曇りのせいで湿度も高く、なかなか火が起こせませんでした。もう火が起こらないのでは…とあきらめかけていた火おこし開始30分後、最初の一人が火おこしに成功すると、皆さんのやる気に火が付き、そして火も付きました。

皆さんが付けた火を集めて焚き火をしました。炎が落ち着いた頃に竹串に刺したマシュマロを焼いて、クラッカーに挟んで食べました。みんなおいしそうなお笑みがこぼれていました。

次回は、火を使って「古代食づくり」を行う予定です。



## 第4回「古代衣装をつくろう！」 令和2年10月25日(日)

古代生活体験館古代構法棟にて、古代衣装作り体験を行いました。

内容は、一枚の布で作る考古博物館少年団オリジナルの「貫頭衣」（かんとうい）作りです。今回は、巾0.6m、長さ2mの生成りシーティング布を使用しました。

まず、頭を入れる穴と腰紐を通す穴（腰紐がずれないようにするため）をあけました。

次に、プリントに古代の模様・絵などの下絵を描き、完成イメージが出来たところで、カラーペンで布に描きました。

最後に、頭からかぶって腰紐を通せば完成です。

思い思いの衣装が完成して、みんな笑顔でした。

次回から、この古代衣装が考古博物館少年団のユニフォームになります。



### 第3回「石器について調べよう！」 令和2年9月13日(日)

古代生活体験館東側ピロティにて、石器作り体験を行いました。

内容は、第1回の延期分「石器について調べよう」です。今回は、石器の種類や作り方を学習した後、実際に石を割ったり、研いだりして石器を作りました。

今回は、赤色頁岩（せきしょくけつがん）という比較的割りやすい石を素材として用いました。

石器は、石やりと石庖丁を作りました。まず、子ども達が持ってきたハンマー代わりの石で形を整えるように少しずつ割っていきます。割れやすいといってもある程度力を入れなければ割れませんし、強くたたきすぎると真ん中から真っ二つに割れてしまうこともあります。

つぎに、砥石で刃を作り出しました。粗めの砥石で研いだ後、細かい砥石で表面をなめらかに研いでいきます。子ども達は砥石を使うこともあまりないようで、きれいに研げる角度を見つけるのに苦労していました。

石器ができあがったら、木の棒にくくりつけて手やりをしたり、石庖丁で草を摘んだりしました。みんなうれしそうに石器を使っていたのが印象的でした。

次回の活動も楽しみです。



ハンマー代わりの石でたたいて形を整えています。



砥石で懸命に研いでいます。



## 第2回「博物館を探検しよう！・まが玉をつくろう！」 令和2年8月23日(日)

博物館1階の多目的ホールで「結団式」を行いました。本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、20名（結団式の出席者は13名）で活動していきます！

式の後には、展示室、3階の展望ラウンジなどを見学し、最後に古代生活体験館でまが玉づくりを体験しました。

第1回が延期になっていましたので、ようやくの活動開始に、終始、みんないい表情でした。これから1年間、新型コロナ対策を万全に行いながら、楽しく頑張っていきましょう。



結団式1



結団式2



館内見学（1階ロビー）

（全員マスク着用の上、担当・指導員はフェイスガード着用、エアコン・換気扇の稼働、窓などの開放）



まが玉づくり（古代生活体験館）

## 第1回「博物館を探検しよう！・石器について調べよう」 令和2年8月1日(土)

当館が臨時休館中であった、9月13日（日）に延期いたしました。